

とるべきポジション

援助技術は、製品、環境調整、サービス、プロセスから構成され、これは障害者が多面的な環境において偏見なく望む作業に参加することを可能にする¹⁾。

WFOT が主張するのは、援助技術の提供は、作業療法実践において核となる能力であり、これは作業、作業の性質、環境に結び付くための人の能力と望みの間の適合を最適化する能力である²⁾。作業療法士は、援助技術に対して適切に利用可能になるよう促進する技能を持っており、障害者が権利を行使するときに、彼らと効果的にパートナーになる。

WFOT は、世界の多様な状況において、適切な援助技術への平等なアクセスを増大するために、作業療法専門職をサポートする。これは、援助技術のデザイン、開発、アクセス、実行というすべての段階において、援助技術利用者の自律性と、利用者中心役割を保持する方法で行われる。

作業療法に対するポジションの重要性

援助技術は、日常生活の最適な参加を促進することにより、自立を推進する。これは、世界保健機関(WHO)によって、世界的な健康と幸福の必須要件として、人権行使のメカニズムとして認められている。しかし、近年 10 人に一人しか、彼らが必要とする質の高い利用可能な援助技術や関連サービスやシステムにアクセスしていない⁴⁾。

作業療法士は、援助技術について統合的な視点をもっており、それは人の能力、作業、環境の関連性においてであり、これはアクセスや使用のバリアや可能となる要因の理解をサポートする。作業療法士は、援助製品を広範囲に知っており、適切な援助技術への普遍的で持続的なアクセスという WHO のビジョンを実現する重要な役割を担っている⁴⁾。

作業療法士は、社会的に受け入れられ安全に、他者を教育することにより援助技術の持続可能な採用を推進できる。作業療法士を含む専門職は、協働して取り組まなければならない、人権という観点から関係者全員に障害者の尊厳とインクルージョンについて情報提供し、確実な実施を可能にしていく^{3,5)}。

社会に対するポジションの重要性

援助技術の提供に倫理的な必須事項があり、これは肯定的なリスクをとることと、個人的、対人的、社会的自由への潜在的な侵害を考慮することとのバランスである。作業療法士は、作業的不公正の複雑な枠組み、差別(アパルトヘイト)や剥奪の中でのアクセスの欠如を考え、人々や社会が健康になるのを妨げていることを考える。

多くの国々で援助技術の提供についての規則や登録制度がある。これは、住民全員において不正使用を防ぎ、一貫性があり、倫理的で、利用可能で、平等なアクセスを作り上げるものでなければならない⁵⁾。

国際的にも地域的にも、援助技術の提供の増大を妨げたり、可能にしたりするものが広範囲に複雑に存在する⁴⁾。WFOT は、作業療法の職場や専門職協会が、現実的な提供を柔軟に行う必要がある、その住民のニーズを充足する地域的に関連する援助技術サービスや製品があると認識している。

要約と結論

作業療法は世界的に認められた専門職であり、必要とする人に広範囲の最適な援助技術へのアクセスを提供する効果的なサービスを行う。

世界的には、作業療法士は援助技術の提供に影響を及ぼす多様性や複雑性という問題に直面している。その結果、WFOT は、質の高い利用可能な援助技術へのアクセスを世界中で高めていくための柔軟で地域的な方法の開発に向けて、作業療法専門職のために声をあげる。

References

1. Cook A, Polgar J. Assistive technologies: Principals and practice. 4th ed. Missouri: Elsevier Mosby; 2015.
2. World Federation of Occupational Therapists, Mackenzie L, Coppola S, Alvarez L, Cibule L, Maltsev S, Loh S et al. International occupational therapy research priorities. OTJR: Occupation, Participation and Health. 2017; 37(2):72-81. DOI: 10.1177/1539449216687528
3. United Nations. Convention on the Rights of Persons with Disabilities: An optional protocol [Internet]. United Nations. 2017 [cited 3 November 2017]. Available from: <http://www.un.org/disabilities/documents/convention/convoptprot-e.pdf>
4. World Health Organization. Global Cooperation on Assistive Technology (GATE) [Internet]. World Health Organization. 2017 [cited 31 October 2017]. Available from: http://www.who.int/phi/implementation/assistive_technology/phi_gate/en/
5. World Health Organization. World Report on Ageing and Health [Internet]. World Health Organization. 2015 [cited 3 November 2017]. Available from: http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/186463/1/9789240694811_eng.pdf

Contributors (listed in alphabetical order)

Hashem Abu Tariah (Jordan)

Liliana Alvarez (Colombia)

Torhild Holthe (Norway)

Natasha Layton (Australia)

Jennifer McAdam (South Africa)

Ritchard Ledgerd (United Kingdom)

Elizabeth Steggles (Canada)

Sarah Wallcook (Sweden)